

○選挙開票作業時間について  
○花卉センターについて



さとう くに お夫  
佐藤 邦夫  
議員

**質問**

選挙の「開票結果を選挙人に対して速やかに知らせるよう」に努めなければならない」と公職選挙法に規定されている。開票事務作業を短縮すればコスト削減になり、更にはこの改善運動を通じて職員の意識改革にもなる。仕事にやりがいや達成感を持ち、自発的に仕事をし、行動して成果をあげる。それを組織全体として行えば他の行政サービスにも拡がると思うが、更に開票時間短縮に取り組むべきではないか。

**市長**

直接指揮管理することはできないが、市民の期待に応えられる選挙事務になるよう、選挙に積極的に要請し、連携したい。

**質問**

花卉センターは経営状況が思わしくないが、どのような経営形態をとるにしても、花苗だけでは経営は難しいと思う。野菜苗も提供できる必要があると思うが。補助金事業なのでそれが可能かどうか。また現在働いている2



花きセンターで作られている花苗

人と花苗をセンターから供給を受けている方々を含む、農業法人を立ち上げて継続すべきだと考えるがどうか。

**市長**

農業の振興という観点から野菜苗の生産も可能だと思う。今のままの花卉センターは廃止の方向で考えているが、今後についてはいろいろな選択肢を模索したい。

合併に伴う財政措置について  
子育て環境ナンプラワンプランの実践について



せき しょうこ  
関 笙子  
議員

**質問**

合併した市町村のみに交付される財政支援がありますが、

奥州市はどの様になっているかお伺い致します。

**市長**

18年度には交付金や補助金等14億円程交付されました。19年度以降も含めて38億円手当たれます。新しい街づくりやネットワーク整備、コミュニケーション等有効に使用されました。又災害時発生時にも復旧費等の面で手当てられます。合併しない市町村は、減額されている中で合併のメリットと言える措置ですので、充分協議の上慎重に支出して参ります。

**質問**

地方財政健全化法案、破たんを未然に防ぐ手立てとして平成20年度の決算から適用されるとあります。市民の皆様は夕張市の様にならないかと不安を抱いております。判断基準をしっかりと示し、市民の皆様にもわかりやすい情報を提供し説明責任を果たしてほしいと思います。

**市長**

実質赤字比率等基準となる四つの指標の報告が義務づけられます。市民の皆様と情報を共有しながら不安のない財政運営を行っていききたいと思っております。

**質問** 働く女性の子育て支援についてお伺い致します。子育て環境ナンプラワンプランが樹立され、200以上の事業が始動しようとしています。多忙な働く女性に對



会社で働く女性の皆さん（前沢区）

する周知や事業実施の時間帯等考慮されていない様に思われますが、施策について伺います。

**市長**

子育てガイドブックを全ての子育て家庭へ配布を予定しております。商工会等へ労働環境の整備を要請した所です。あらゆる手段できめ細かに対応して行きたいと思っております。

商工行政について



わたなべ あけ み  
渡辺 明美  
議員

**質問**

改正市街地活性化法による市としての都市経営をどのよう